

## 地球科学の現代史研究のための資料収集について Collecting Materials for the Study of Contemporary History of Earth Science in Japan

山田 俊弘<sup>1\*</sup>, 水谷伸治郎<sup>2</sup>, 青木滋之<sup>3</sup>  
YAMADA, Toshihiro<sup>1\*</sup>, Shinjiro Mizutani<sup>2</sup>, Shigeyuki Aoki<sup>3</sup>

<sup>1</sup> 千葉県立幕張総合高等学校, <sup>2</sup> 名古屋大学, <sup>3</sup> 会津大学

<sup>1</sup>Chiba Prefectural Makuhari Sogo High School, <sup>2</sup>Nagoya University, <sup>3</sup>Aizu University

第二次世界大戦終結後 60 年余りを経て地学の現代史研究の気運が高まってきている (日本地学史編纂委員会 2008-2010, 京大地球物理学研究の百年 2010-2011, Working Group of Japanese INHIGEO Members 2011)。だが, 研究のための資料の組織的な収集・保存が必ずしも意識的に行われているとは言えず, 場合によっては憂慮すべき事態も多々予想される。

こうした状況をふまえてわれわれは地球科学の現代史研究のための歴史資料の収集を開始している。資料には公的記録や会議報告, 講義ノート, さまざまな会合での私的なノート, 手稿, 手紙の類, さらに聞き取り調査による資料などが含まれる。われわれはこれらをとりあえず二つに分けている。一つは大学や研究所など研究施設の設立と歴史に関するもので, 名古屋大学の地球科学科を一例とし, もう一つは個別の科学者に関するもので, ここでは故都城秋穂 (1920?2008) 関係資料を取り上げる。

名古屋大学は 1949 年に「地球科学」科を設立した。この学科名は旧制国立大学では初めてであった。基本構想は戦中から戦後にかけて理学部の教授達によって議論されていた。新学科における教育プログラムは地質学・地球化学・地球物理学すべての分野を含むもので全く新たに作り出された。しかし半世紀後には科学の新しい動向によってより進歩した研究や教育への対応を余儀なくされ, 1996 年地球惑星科学科となった。この名古屋大学地球科学科に関する資料収集は, 戦後地学史研究に制度史的な意味で一つの座標軸を与えるものと期待される。

一方, 地球科学の学問的な歴史については, 都城教授の仕事に言及する必要がある。都城は 1967 年以降アメリカにいたが, その活動は変成岩岩石学の分野だけでなく, プレートテクトニクスを含むグローバルな地質学の分野で影響力を保持していた。現在収集している関連資料は以下の通りである。a) オールバニーにいた都城と日本の友人達との間で交換された書簡, b) 日本地質学史に関する未刊行原稿, c) 都城の研究室や書斎にあった科学哲学や地質学史などに関する書籍。これらの資料は四つの時期の情報としてグループ分けされる。1) 1980 年前後で全 16 巻の岩波地球科学講座の編集出版に携わっていたときのもの, 2) 「地質学とは何だろうか」という一連のエッセイを執筆していた 1994 年から 96 年のころのもの, 3) 『科学革命とは何か』を出版した 1998 年前後のころのもの, 4) 日本の地質学界の歴史を書いていた最晩年のもの。まだささやかな一歩に過ぎないが, こうした作業によってこの博識な地質学者の生涯と業績を, 勝利者史観を排しつつ, 現代史のなかで理解できるようになると考える。

これらの資料に基づくことによってわれわれは日本の地球科学の現代史を議論できるようになるだろう。昨年 of 地惑連合大会で報告したように (青木・倉本 2011), われわれの形成している研究グループ CHES (Contemporary History of Earth Science) には地質学者, 地球化学者, 地球物理学者, 科学哲学者, 科学史家が集まっており, 将来のこの分野の研究や教育, 社会貢献のための材料を提供できるものと考えている。

キーワード: 地球科学史, 昭和戦後期, 名古屋大学, 都城秋穂, 資料収集

Keywords: history of earth science, Showa post-war period, Nagoya University, Akiho Miyashiro, collecting materials